

いまから ライフステージを 考えよう



就職課長
杉本 光子

新入生の皆さん、自分の「夢」を持っていますか。

中央大学では2000年度入学生に、大学を選ぶ際に重要視したことについてアンケートを取りました。学部や志望順位によっても異なりますが、全体では「設置学部、学科、専攻」と回答した人が半数を越えました（複数回答）。また、本学の特徴である「資格・免許取得のため」も4分の1近くの方が決定理由としています。このアンケートから「目的を持って入学された人」が多いことがわかります＝表参照。

しかし、まだ目標が見つからない人、やりたいことが多くあって迷っている人、これから大学で学びながら探そうと考えている人、入学はしたものの何のために勉強するのか答にたどりつけない人など、さまざまだと思います。しかも、目的を持って入学した人でも、これから多くの人と出会い、学び、経験を重ねるうちに目的が変わることもあります。

ボランティアやインターンシップ^(注)への参加を通じて、大学以外の社会を体験することも目標を探す一つの方法です。この4月という節目に、自分のライフステージというものを改めて考えてみませんか。

中央大学受験決定理由上位10項目

(複数回答)

1	設置学部・学科・専攻	51.2%
2	大学の知名度	40.5%
3	大学全体のイメージ	25.6%
4	資格試験・免許取得のため	23.8%
5	入試日程が適当	19.2%
6	教育内容の充実	18.5%
7	就職実績	17.5%
8	歴史や伝統	17.0%
9	入試科目	16.2%
10	先生、友人、先輩の勧め	14.4%

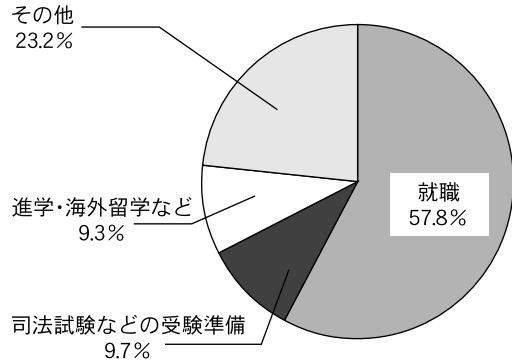
大学生活をどのように過ごすかによって、あなたの4年間はどのようにも変わります。サークル活動に力を注ぐのもよし。資格取得やゼミナールなどの勉強を中心に据えるのもよし。アルバイト、留学、なんでもかまいません。

まず、そういった自己体験を通して「自分を知ること」から始めてみましょう。①自分はどういう人か ②自分は何ができるか ③自分はこれから何をしたいか、を真剣に考え、もう一度、自分と正面から向き合うことで、「目的」は自然に見えてくるはずですよ。

例えば、1999年度の卒業生（昨年3月卒）が、どんな進路を選んだかを紹介しますと、約6割の学生が就職して実社会に飛び出しました。その他の人たちは進学・海外留学組と、司

法試験などで勉強を続ける受験準備組が、それぞれ約1割います。残りの2割は進路届けを出さなかった人です。この中には、就職した人もいますが、目標に向かってその準備のために、あるいは本当にやりたい仕事を探し求めて、職に就かなかった人も含まれています＝右図参照。

中央大学生の卒業後の進路



どの道に進むかは幅広い選択肢があるがゆえに非常に難しい問題です。「自分を知ること」と合わせて「社会を知ること」「職業を知ること」は、主体的に進路を考えるうえで大変重要です。

明確な目的意識と、その意識に基づいた「夢＝目的」を実現する方法を納得いくまで調べる積極的な姿勢が、大学生活を意義あるものとし、次のステージに夢を広げることになります。いずれの道を選んでも「問われるのは『その夢を実現するために力を尽くして歩んだか?』ということ」です。

『仕事の思想 なぜ我々は働くのか』田坂広志著（PHP研究所）から
 （注）在学中に企業などの現場で実習・研修的な就業体験を行う制度。

中央大学講演会

演 題 「大学時代に何をすべきか」（仮題）

～進路について考えるために～

講 師 日本ハム株式会社 代表取締役社長 おおこそ ひろじ 大社 啓二 氏



香川県出身。中央大学法学部法律学科卒業後、1980年日本ハム入社。取締役、専務取締役などを経て、1996年代表取締役社長に就任

日 時 2001年4月12日(木)

13時20分から14時50分まで

場 所 多摩キャンパス 8号館8304号教室

総司会 総合政策学部 山口 秀夫 教授

主 催：中央大学

（新生に限らず、関心のある方は奮ってご参加ください）